

職業講話（原中学校）

と き	令和元年 10 月 25 日（金） 10:00～11:30
ところ	原中学校 体育館
対 象	1 年生（144 人）
内 容	企業の方の話を聞き、仕事の大切さ、仕事に必要な力などを一人一人がしっかりと考えられるようにするための学習をしています。働くことの意義や生きがいを知り、職業への関心を高め、将来の夢や進路について幅広く選択できるよう、協力事業所（3 社）による職業講話を行いました。



【沼津信用金庫の方】

昔の管理職は男性ばかりでしたが、今は女性の管理職も多く、時間を決めて働くこともでき、出産・子育て中の方も働くことのできる環境が整っています。お客様の夢や希望をお金の面からサポートできる仕事で、静岡東部の 4 市 3 町に本支店があり、地元で働くことのできる仕事です。



【マックスバリュ東海株式会社の方】

今の仕事は、対外的な仕事の紹介・給与の支払い・安全に仕事ができるための環境づくりをしています。最初の仕事でお魚を切ったり、ミシンを使ったり、主婦になるのに必要な知識を得られました。知識や技術を得るために努力するのは男女共にとても大切なことだと思います。



【市立病院の方】

昔は看護婦と呼ばれていた仕事ですが、男性が増え看護師となり、今では男女共に看護師と呼ばれています。私は手術担当の看護師です。ドクターが手術で使う道具をより早く渡し、手術時間を短縮して患者さんがより早く回復できるよう変化していく手術方法を日々勉強しています。

子どもたちの感想

- 家庭や会社への訪問をしたり、お金の貸し借りの管理をしたりなど、普段見ない事務の仕事が多いことを知りました。
- レジ打ちや商品を並べるという仕事だけではなく、お客様のためを思って、店内にも工夫していることを知りました。
- 今回看護師さんが男性だったのでびっくりしました。男性の看護師さんがもっと日本中に増えてほしいなと思いました。
- 三人の方々にしていただいた講話を参考にして、進路を決めたり、これからの生活に役立てていきたいと思います。